

記入日 2025 年 10 月 29 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2026 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	三浦 吉太(みうら きた)
立候補する役職	交換留学委員長
大学/学部/学科	日本薬科大学 / 薬学部 / 薬学科
学年	3年
所属	交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	記入例) 2024 年 4 月 日本薬学生連盟 交換留学委員会に入会 2025 年 2 月 冬交換留学プログラム(以下 SEP) LEO 担当 2025 年 8 月 夏 SEP LEO 担当 2025 年 9 月～ 2026 年冬 SEP に向けて LEO として準備活動中
立候補動機	委員会で約 1 年半活動し、日本薬学生連盟、交換留学委員会、海外から訪れる留学生の多くの人々と関わってきました。その中で、日本と海外を問わず、多くの人々が交換留学委員会の活動によって喜びや達成感を得てきた姿を見て、活動に参加する全員が「参加してよかった」と思える場所を作りたい、その場所を支えたいと感じたため、立候補に至りました。 また、前任からの推薦もあったのも、理由の一つです。
問題点と改善案	主な改善点は3つあります。 一つ目は、「企画参加へのハードルが高いこと」です。交換留学委員会は入会まで至ったとしても、そこから企画参加へのハードルが高いことが問題だと感じました。これを解決するには、誰でも気軽に参加できる雰囲気を作ることや、企画に知っている人や友人と参加することで、ハードルを下げられると考えました。そこで具体策として、SEP の前後にオンライン企画または対面企画での交流会や打ち合わせを企画することで、フレンドリーな雰囲気づくりに努めたいと考えました。また、コロナ以降オンラインの企画が多くなっていますが、対面企画の方も多く行い、初対面の人を少なくして、企画参加のハードルを下げたいと考えました。 二つ目は、次回 SEP までの準備の開始までに時間がかかることです。これについては、SEP を終えたことでの達成感に浸っていたり、それぞれ大学生活が開始する時期であったりと、様々な理由でこの問題が生じていると思います。この準備までの期間を短縮するには、参加者の次回 SEP へのモチベーションを上げることが重要だと感じました。そのため、今まで反省会をオンラインで行っていましたが、対面でも行うことでよりスムーズに次回に生かす点を共有し、次回 SEP のモチベーションを高めたいと考えました。 三つ目は、交換留学委員会の外部への認知度が足りていないことです。SNS でのフォローは増えていますが、まだ日本の学生で当委員会を知らない人は多いかと思われます。そのため、SNS も重要ですが、対面での紹介を新歓だけでなく、年会でのアピールや他部署との連携により、日本の学生へアピールしていくことも重要視していきたいです。
活動計画	2026 年 4 月 新規スタッフ獲得、新規スタッフを含めた SEP 前交流会または打ち合わせ 5～8 月 夏 SEP 企画運営 9 月 新規スタッフ獲得、夏 SEP 振り返り(オフラインでも行う) 9 月～27 年 2 月 冬 SEP 企画運営 2027 年 3 月 冬 SEP 振り返り(オフラインでも行う)、年会にてアピール活動
所信	私が交換留学委員長になった際には、「楽しい」をメインテーマとして活動したいと考えています。交換留学委員として活動している中で気づいたのは、委員会への企画参加まではハードルが高いですが、参加してからは多くの楽しさが待っていることです。そのため、私はこの交換留学委員会に参加する学生や、参加しようとしている学生に、「楽しい」と必ず言ってもらえるような組織にしたいです。その楽しいという思いから、交換留学委員会へ所属するメンバーのモチベーションを上げ、その勢いを企画へ取り込めればと思います。 また、その楽しい雰囲気を弊団体全体へと波及させ、日本薬学生連盟に参加しているメンバー全員が、所属していて楽しいと思える活動を目指します。そして、その雰囲気を弊団体全体へと浸透させることで、日本薬学生連盟自体への新規メンバーの参加に貢献したいと考えています。